

参加費 一、〇〇〇円 懇親会費 七、五〇〇円
宿泊費 (朝食とも) 四、七〇〇円

二十一日昼食費 一、五〇〇円

日本医史学会関西支部事務局

振替口座番号 大阪一―二七六四五

〒91 堺市新金岡三―一―二―三〇八

長門谷洋治気付 ☎〇七二二―五一一七二六一

例会記録

一月例会 平成三年一月二十六日(土)

順天堂大学医学部新館階段教室

一 横浜医学史細見

中西 淳朗

一 巣鴨病院看護長 清水耕一小伝―呉改革をささえた人―

岡田 靖雄

二月例会 平成三年二月二十三日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 賈静濤著『中国古代法医学史』の紹介

滝川 巖

一 木簡にみられる「医史学」的記述について

樋口誠太郎

三月例会 平成三年三月二十三日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 『ペドネ鑑賞』A History of Paediatric Surgery

N.T.S.C.]

一 長崎屋の移転

片桐 一男

例会抄録

一 シーボルトの娘イネの活動について 高橋みや子
一 人口受(授) 精論証と脳死臓器移植に就いての私見 宮田十寸穂

長屋王家跡出土木簡に見る

奈良時代貴人の医と食生活への考察

樋口誠太郎

はじめに

平城京跡から多数の木簡が出土し、これにより奈良時代の人びとの生活や職制・官制などの中で従来問題になっていたことがいろいろ判ってきて、出土木簡が貴重な史料として注目されている。奈良国立文化財研究所から刊行される『木簡概報』は、その手がかかりとして各方面から関心をもって見られている。

しかし、これらの内容を「医史学」的視点から整理し見なおしていくという作業は、なされていないので、私はそれをテーマとして検討することにした。

今回テーマとしてとりあげた長屋王は、奈良時代初期の貴人で、政治的にも重要な人物で、その邸宅跡が特定され、そこから約十万点にもおよぶ木簡が出土したことで、当時の最上層ともいえる貴人がどの様な生活をしていたかが判る貴重なもので、「医史学」